

医師の外來診療スケジュールが変更となりました。

	月	火	水	木	金	土	
A	1診	小谷名誉院長	勝瀬医師	井上院長	小谷副院長	伊敷医師	井上院長
M	2診	井上診療部長	小谷副院長	高野医師(内科)		井上院長	勝瀬医師

  

	月	火	水	木	金	土
9:00	オゾン	植村院長	植村院長	植村院長		
12:00	イエロー				植村院長	植村院長
14:00	オゾン		植村院長	植村院長		
18:00	イエロー	井上和医師			井上秀医師	植村院長



### 平成26年度事業計画

#### 総合企画室室長

#### 徳重 学

平成26年度4月に診療報酬が改定され、精神科領域においては入院から在宅への大きな流れを受け、救急体制の強化や在宅への医療支援について高い評価がなされました。また長年にわたり議論されてきた精神科病床の削減についても、具体的な検討案が示されるなど、精神科病院を取り巻く環境は急激に変化しています。このような変化に対応しながら、地域が必要とされる病院になることを目標に、平成26年度事業計画を策定いたしました。今回はその中から2つの項目をご紹介します。

#### 在宅医療の推進

昨年度まで、城西病院で受託してきた「アウトリーチ推進モデル委託事業」の経験を生かし、支援対象者が「住み慣れた地域で自分らしい生活を実現・維持できること」を目標に掲げ、様々な支援を組み合わせ丁寧な在宅支援を推進していきます。具体的にはバイオクリニック等での外来医療の提供、

専門医による訪問診療、看護師をはじめとした多職種による訪問看護、相談支援事業所の計画相談などを利用者の必要度等に応じて組み合わせる支援します。特に長期間にわたって入院を繰り返している方や、同居家族の高齢化等により現在から将来にわたって、自宅での生活に心配や不安を抱えている方やそのご家族については効果的な支援が可能となりますので、体制の強化を早急に進めて参ります。

#### 病院機能評価機構認定更新

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者が中立・公平な立場に立ち、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を確認し、条件を満たした病院を認定する制度です。当院は県下の精神科病院として初めて、平成16年2月に認定していただきました。この認定には5年毎の再評価が求められており、城西病院は9月に2回目の更新を控えています。更新作業は煩雑なものも多く、大変な作業を伴いますが、日常の業務を

#### マクロビオティック料理教室

##### 梅ごぼう

【材料】  
ごぼう 200mg  
練り梅 小さじ1・小さじ2  
菜種油 小さじ2  
梅 酢 少々  
水 100cc



- ① 圧力鍋に油をひき、カットしたゴボウを炒める。このとき、梅酢を少々加える。
- ② ゴボウ臭さがなくなってきたら、水と練り梅小さじ2を入れて蓋をして圧力をかける。
- ③ 中火で炊き、圧力が上がった後弱火にして4分炊く。
- ④ 5分経ったら、圧力を抜いて蓋を開け、水分を飛ばす。水分がとんだ所に残りの練り梅小さじ1を絡める。(最後の練り梅小さじ1に関しては、お好みでよいです。)

#### 55周年 開院記念式典

当院は昭和34年4月16日に開院し、今年、病院創立55周年を迎えました。平成14年4月16日より、開院記念式典を行うようになり、この記念すべき日を全員でお祝いしています。



#### 医療法人睦み会の最も大切なもの

心と身体を癒し続け  
人生をより豊かなものとし  
今を共に語り合い  
支え合っている

基本方針  
一 ほどよい医療と看護を提供し、病める人をこころから大切に生かす。  
二 心の病は誰でもなる可能性がある。心を守り、心は必ず治ることを信じ、スタッフ全員で取り組む。  
三 同じ人間を、同じスタッフとして、共に高めよう。  
四 互いに支え合う共生社会を作り上げる。

#### 城西バイオクリニック

院長 植村 桂次

城西バイオクリニックは、平成19年9月1日に開院し、はや8年が経過しています。その間、スタッフの異動はありましたが、各部署の連携はスムーズに行えるようになり、それぞれが協力していくことも出来るようになってきています。

当院を受診する患者様やデイケア利用者も増加し、「地域に根付いた医療の提供」という目標に向かって順調に進んでいると感じています。

新たな在宅支援への取組を開始し、平成24年11月1日、「相談支援事業所バイオ」が開院し、多くの患者様、ご家族から相談を受けるようになってきています。

また、平成24年4月よりモデル事業として城西病院で行われていた「アウトリーチ」が、平成26年4月からバイオクリニックに拠点を移し、「アウトリーチ」として活動しています。医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士がチームを組み、「相談支援事業所」と同様、患者様の在宅支援を目標と



【城西バイオクリニック】  
1階…診療所、ACT事務所  
2階…マクロビオティックレストラン  
3階…デイケア  
4階…相談支援事業所事務所  
多目的ホール（貸出可）

連絡先  
088-611-1160



城西バイオクリニック  
→在宅支援診療所  
(Dr, Ns, PSW)

ACTチーム

訪問看護室  
→訪問看護ステーション  
(Ns, OTR)

相談支援事業  
(PSW)

#### マクロビオティックレストラン

2階に併設しているレストランでは、マクロビオティックの食事を提供しています。

今回は、食育フォーラムに出品用にお弁当を作ったので、ご紹介いたします。

テーマは、「お弁当から伝わる思い」。

「私ども、レストランバイオは、地元で採れた新鮮なお野菜を使った料理を提供しております。素材を生かし、少しの工夫で野菜の持つ美味しさを、大切な皆様にも感じていただけるようにと考えています。」

レストランでは、日替わりランチを提供しており、地元の野菜を取り入れ、身体にやさしい食事を食べることが出来ます。是非、お立ち寄りください。



#### 自立訓練事業所ウイスキー

施設長 月岡麻美

自立訓練事業所ウイスキーは、利用者の社会復帰を目指すための中間施設として、通所型と宿泊型の生活訓練事業を行っています。

2年間という限られた期間の中で、一人ひとりがそれぞれの目標を持ち、社会復帰を目指しています。自立訓練事業所に移行して3年目を迎える支援の在り方や、これからの課題が少しずつ見えてきています。

現在のプログラム活動として、利用者同士のコミュニケーションの場の提供を目的とした「ふれあい喫茶」の運営や、就労訓練としての簡単な内職作業、ソフボールの練習、ボランティアの先生や地域近隣住民の方を招いての茶道教室、生花教室の開催、社会見学、調理実習などを行っています。また、個別においても一人一人に合わせた、さまざまな生活訓練や支援を行っています。

今年度のウイスキーでは、利用者の2年以内の社会復帰を目指すことを目標に、地域社会との連携を図っています。

#### グループホーム・トゥデイ

ホーム長 戸田有香

トゥデイは平成18年、福祉ホームとして設立し、平成25年には自立支援法に基づく共同生活援助(グループホーム)となりました。

グループホーム・トゥデイでは、相談その他の日常生活上の援助を行っています。定員は20名です。利用期間の定めはありませんが、利用する皆様にはそれぞれに目標を持って利用していただきたいと考えております。

現在は女性12名、男性8名の20名

#### 最近のトゥデイの様子を少しご紹介します。

最近、スタッフと個別で調理実習をするメンバーさんも増えてきました。1人暮らしに向けて練習中です。

おいしそうですね。



トゥデイの屋上では、野菜がすくすくと育っています。メンバーさんが水遣りもしてくれています。夏にはおいしい野菜がたくさん収穫できる予定です。



トゥデイの看板魚、メダカ達です。こちらもメンバーさんが水換えや餌やりなどお世話をしてくれています。

